

山下（真）議員（民主県政会）

平成 29 年 2 月 28 日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）調査検討委員会が指摘した教育課題に全県で取り組むことについて  
調査検討委員会から指摘された事項を全ての学校の課題として、どのように取り組んでいこうと考えているのか、教育長に伺う。

（答）

府中町の調査検討委員会の答申では、様々な課題が指摘されておりますが、とりわけ、教育の原点とも言える「子供に寄り添った教育」ができていなかったことは、当該校だけでなく、教育に携わる者全体が、厳しく受け止める必要があると考えております。

「子供に寄り添った教育」の実現のためには、各学校が、校長のリーダーシップのもと子供を基点とした「自律した経営」になっているか、管理職と教職員が互いに学校の夢を語り、そして教員一人一人が自律的に、学校経営に参画しているかなどを、しっかりと点検し、改善していく必要があると考えております。

このため、教育委員会では、昨年 12 月 6 日に、当該校はもとより、全県的に普遍化すべき「課題」や「今後の取組」を取りまとめたところでございます。

これに基づきまして、県立学校長会議では、生徒指導資料「児童生徒の心に寄り添う指導の在り方について」を、また市町教育長会議では、生徒指導資料に加えて「中学校における進路指導の手引」を示し、全ての教職員に周知・徹底を図り、組織的な取組を進めるよう指導したところでございます。

引き続き、関係者の意見もお聞きしながら、今回の事案を教訓として、全県的に普遍化する取組を着実に進め、各市町教育委員会と連携をしながら、このような悲しいことが二度と起こらないよう、全力で取り組んでまいります。